CRL和英翻訳パートナー　トライアル受験要領

言語学 [https://www.crl.cloud/partners/doc/trial\_linguistics.docx](https://www.crl.cloud/partners/doc/trial_philisophy.docx)

作業仕様

1. トライアル回答は別ファイルに保存して提出してください。
2. トライアル回答には英語のみ記載してください（和英対訳形式ではありません）。
3. 使用フォントはTimes New Roman、サイズは12 pointでお願いします。
4. 訳出根拠の提示はコメントにて（本文への追記は厳禁）ソース情報を提示してください。

 ※トライアル回答・コメントに記載するテキストは、全て英語のみとします。

課題文（言語学）

言語活動と言語教育をめぐる今日の問題として、外語学習に言えることと、母語にも外語にも言えて、特に母語である日本語の使われ方について言われる問題とがある。

外語教育に関して言えば、流暢に使えるようになりたいのに、なかなか使えるようになれない、という問題がある。この問題は、いわゆる「普遍文法理論」では解決できないであろう。もっと現実的な解決法として、外語の仕組み・システムの要領を積み重ね学習していくことがあるが、その要領のポイントとしてどのようなことが考えられるかに関して、認知言語学は貢献することができることを後で示す。

それ以上に重要なこととして、母語にも外語にも言えて、特に母語である日本語の使われ方について言われる問題がある。とりわけ著しいのは、言語表現力の変容であろう。